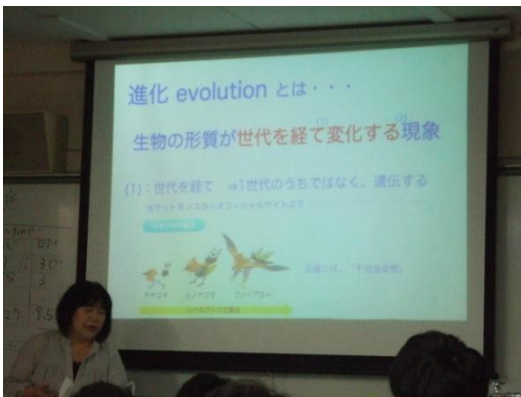


『今そこにある進化』を見る ～普通の植物のハイテクな生き方～ 」

西野 貴子 先生

大阪府立大学 大学院 理学系研究科 生物科学専攻 (多様性生物学)

SSH (スーパーサイエンスハイスクール) 事業の一環として、大阪府立大学の西野貴子先生を迎え高大連携講座を開催しました。生物分類学を研究しておられる西野先生から、『今そこにある進化』を見る ～普通の植物のハイテクな生き方～ 」をテーマに講義いただきました。



西野先生は、野生植物を材料に、種の系統関係から種内の遺伝的構造までのさまざまな階層構造における生物多様性の研究を行っておられます。野外での採集・調査をもとに、実験室内で分子生物学的手法を用いて解析を行い、系統関係や過去の地史といった時間軸や、分布や遺伝的構造といった空間軸を組み合わせて、生物の在り方を探っておられます。

面白い形態や生態の植物について「こんなオモロイ植物」どうやって進化したのだろうか？いつ、こういう形質を獲得したのだろうか？どういったメカニズムで進化したのだろうか？という疑問。残念ながらタイムマシンは持っていません。生物の何を調べたらいいのだろうか？という疑問に対して、DNA がその解を与えてくれる。



今日は、DNA の分析から、分子生物学的手法を用いて解析を行い、系統関係や進化の時間軸を解明していくという最新の生物分類学の研究について講義していただきました。『今そこにある進化』を見るとして、「遺伝 evolution」とは何か。身近な例でわかりやすく泉北生に説明していただきました。生物分類学の最新の分析手法に触れ、非常に興味を持って聞くことができた講座となりました。